

図書館だより 2025.2月号



農芸高校図書館 2025.2.10 発行

立春も過ぎましたがまだまだ寒いですね。
「光の春」とも言われる2月は短いですが、体調にも
気を付けつつ毎日を過ごしてください。

- ・会議など、職員不在で閉館することがあります。
返却する本は入り口前のポストへ入れてください。
- ・貸出期間は2週間です。延長したいときは手続きをしてください。

(画像データなし)

<図書委員のおすすめ本>

『宮沢賢治 ちくま日本文学全集003』 筑摩書房

有名な『注文の多い料理店』『セロ弾きのゴーシュ』から、教科書にも掲載されている『よだかの星』まで、多数の話が収録されている一冊。
日本文学の入口に、まずは童話から入ってみてはどうでしょうか。



本屋大賞2025 ノミネート作 決定

全国の書店員さんが選ぶ「いちばん売りたい本」。

今年のノミネート 10 作が発表されました。

農芸図書館にも間もなく入るので、楽しみに。

(作品名五十音順)

『アルプス席の母』 早見和真 著

『カフネ』 阿部暁子 著

『禁忌の子』 山口未桜 著

『恋とか愛とかやさしさなら』 一穂ミチ 著

『小説』 野崎まど 著

『死んだ山田と教室』 金子玲介 著

『spring』 恩田陸 著

『生殖記』 朝井リョウ 著

『成瀬は信じた道をいく』 宮島未奈 著

『人魚が逃げた』 青山美智子 著

(掲載した書影は、国立国会図書館サーチの書影 API のデータ

(データ提供機関: 出版情報登録センター)を利用しています。)



『カルテット!』 鬼塚忠 著 河出書房新社

バイオリニストとして将来が有望な主人公だが、その家族は崩壊寸前。そんなバラバラな家族を救うべくカルテットを組み、絆を取り戻す作品です。
テンポが良く、分かりやすい作品なので読書初心者の人にもおすすめです。

<新しく入った本から>

「やらなきゃいけないのになんにも終わらなかった・・・がなくなる本」

菅原洋平 著 WAVE 出版

やる気が出ない、つい他のことをしてしまう、など多くの人は心当たりがあるかもしれません。行動を変えるために必要なことを、リハビリテーションの専門職である作業療法士の著者が教えてくれます。

「やさしい生命倫理」

椎名隆 編著 化学同人

医療、環境・動物、食の各分野に関わるトピックを易しく解説します。



「タネまく動物」

小池伸介・北村俊平 編著 文一総合出版

動物たちにタネを運んでもらうために、植物はどのような特性を持っているのでしょうか。生きもの同士のつながりに感心させられる一冊です。



現代調理道具論

稲田俊輔 著 講談社

「時短」「爆速」といった言葉が頻繁に登場する昨今、“楽して美味しいものを作りたい”というニーズに応えてくれる道具類とそのレシピを紹介しています。



自分のあたりまえを切り崩す 文化人類学入門

箕曲在弘 著 大和書房

文化人類学、という難しいイメージがあるかもしれませんが、身の回りの「ものの見方」を変えてくれる学問、とも言えそうです。バレンタインデーのチョコ交換も事例のひとつ。

自分が知っていること、見えていること、が全てではないことに気づかされます。



あえのがたり

加藤シゲアキ [ほか] 著 講談社

奥能登地域の伝統行事「あえのこと」は、田の神さまをもてなす儀礼です。被災地支援として10人の作家さんが「おもてなし」をテーマに小説を書きました。



戦争をくぐりぬけたおさるのジョージ

作者レイ夫妻の長い旅

ルイズ・ボードン文 アラン・ドラモンド絵

福本友美子 訳 岩波書店

ロングセラー「おさるのジョージ」シリーズでも知られるレイ夫妻が、ナチスの侵攻を逃れてアメリカに渡るまでを追った絵本です。

中高生のための

やさしいスポーツ医学ハンドブック

曾我部晋哉 著 日本写真企画

ケガの予防と対策に、知っておきたい運動中のリスクなどを易しく解説した本です。

「図解入門業界研究」シリーズ 秀和システム

最新食品業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本 第6版

中村恵二・伊藤由加子 著

最新外食産業の動向とカラクリがよ〜くわかる本 第4版

中村恵二・南まい 著

最新アパレル業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本

第5版

岩崎剛幸 著